



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL https://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2022年10月31日

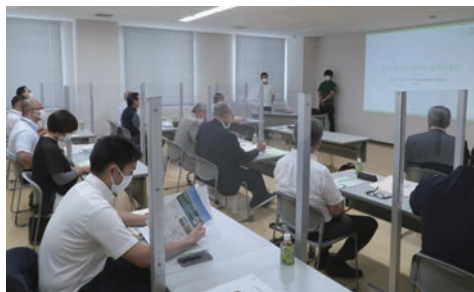


大型風車の前で記念撮影（公共施設等視察会）

公共施設等視察会が9月6日（火）に行われ、西理事長をはじめ組合員ら14名が参加した。今回視察に訪れたのは、風力発電では日本最大規模を誇るウインドファームつがる。同発電所は、つがる市の屏風山広域農道沿い約10kmの範囲に、高さ100m近くある大型風車を38基設置。1基あたりの発電量は3千2百kW、総出力は12万kWとなり、青森県全世帯の6分の1に当たる約9万世帯分の電力供給に相当する。

視察会では、はじめに風力発電所近くの会議場で施設の建設・管理を行う㈱グリーンパワーインベストメントの職員から説明を受けた。その中で参加者は、風車建設時の動画を視聴。50mの長さの風車のブレードを陸路で運ぶ様子

日本最大の風力発電所を視察 公共施設等視察会



別会場で概要説明を受ける

や、大型クレーンを使って巨大な風車を組み立てる様子などを興味深く見入っていた。同社では、風力発電を運営するにあたり地域との共生を一番に考えていると説明。「毎日実施している風車のメンテナンスは地元の電気業者に委託。つがる市へ継続的な寄付を行い、用途も市と協議して稲わらの有効活用など地域の課題解決につながる事業に使用してもらっている。また、小・中・高への出前授業や見学受入、小学生の描いた絵で風車をラッピングするなど地域とのつながりを大事にしている」と話した。その後、一行はバスで移動して実際に風車を見学。特別に風車の中まで見ることができ、貴重な体験となった。

新規組合員の伊藤ハムミート販売東(株)が団地内での営業をスタートさせた。同社は伊藤ハムグループの一員として、北海道、東北、関東甲信越エリアの小売店、精肉店、焼肉店等へ食肉を卸している。今回の移転は、同社の物流業務を請け負っている組合員のサンライズ産業(株)が伊藤ハム専用の物流センターを団地内に新設して賃貸する。新たな

伊藤ハムミート販売東(株) 新規加入



火災時訓練で煙体験

9月7日（水）に10回目となる問屋町防災訓練が問屋町会館で開催され、組合員21名が参加した。青森市危機管理課、青森地域広域事務組合消防本部から指導員を招き、訓練は行われた。2年振りの開催となった同訓練では、参加者が2班に分かれ火災時訓練と救命訓練を交互に実施。火災時訓練は、四方を覆ったテントの中に人体に無害な煙を充満させ、火災の際に煙で視界の悪い状況でどれだけ動きが制限されるかを体験。救命訓練では、心肺蘇生法やAEDの使用手順をデモ機を使って学んだ。

防災訓練で火災時体験



伊藤ハムミート販売東 新社屋

な青森営業所として、経営基盤の強化と営業・物流の効率化が期待される。



デモ機を使った救命訓練

最後に青森市危機管理課佐々木課長が日頃からの防災対策についての講話を行い、訓練は終了した。

4回目となるコロナワクチン
職域接種の実施についてなど
承認
第5回理事会

第5回理事会が9月26日(月)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。
また事務局からは、問屋町版インタースhipや防災訓練の実施状況などについて報告した。
主な案件審議は次のとおり。
案件一・事業委員会からの意見について
組合創立55周年記念広告の

松山・広島方面を視察
同友会視察研修会

青森問屋町経営同友会では、9月14日(水)から16日(金)までの3日間、松山市及び広島市方面への視察研修会を実施した。

松山市では、市内における観光誘客率ナンバーワンを誇る松山ロープウェー商店街を視察。ファサード整備による景観づくりをはじめ、犯罪抑止を目的とした防犯カメラの設置など積極的に事業を展開しており、参加者は熱心に話を聞いていた。
広島市ではマツダミュージアムを訪問し、マツダ(株)の自動車作りについて視察。創業



同友会 視察研修会

実施が承認された。
案件二・労務対策委員会からの意見について
ボウリング大会の開催や健康やか力推進センターと連携したQOL健診の実施などが承認された。
案件三・インフラ再整備推進特別委員会の設置について
案件四・オミクロン株対応ワクチンの職域追加接種について
案件五・2022年度第6回理事会の日程等について
理事会終了後には、青森卸センター(株)の第3回取締役会が開かれ、提出案件全てが原案どおり承認された。



アレコホールでのピアノ演奏会

ピアノコンサート協賛

当組合が協賛した青森県立美術館での特別演奏会「5台ピアノコンサート」が、9月18日(日)・19日(月)の2日間開催された。



合同企業セミナー

秋季合同企業セミナー
を開催

会内の5つの卸団地で運営する青森県流通団地連絡協議会が、9月30日(金)に青森中央学院大学で開催され、組合員企業15社が参加した。
同協議会では県内の各団地や組合員企業の知名度向上、採用機会の拡大を目的に、2018年から共同求人活動に取り組んでいる。
青森中央学院大学では例年この時期になると、これから本格的な就職活動を迎える経営法学部3年生のキャリアアップの一環として合同企業説明会の模擬体験を実施。当協議会の企業セミナーとタイアップする形での実施は今年で4回目となる。
当日は約130名の学生が

今月紹介するのは(株)技研。同社では、社長が美化緑化活動に前向きで組合加入以前からプランターなどで花を育てていたが、組合の取り組みに触発されて一層力を入れるようになった。花の管理担当

とんやまちフラワースタップ

同美術館には吹き抜けの大空間があり、マルク・シヤガールによるバレエ「アレコ」の舞台背景画全4枚が展示され、アレコホールと呼ばれている。演奏会と同ホールで実施され、舞台背景画と音楽とが空間を共有する特別な機会。5人のピアニストと5台のピアノが奏でる大迫力のパフォーマンスが聴衆を魅了した。



技研の花壇



メモをとりながら熱心に聞く学生

KOSEKI コセキ株式会社
【事業内容】
●医療機器・システム・ネットワークの提案・販売・施工・メンテナンス
●情報・映像システム等企画・提案設計・施工・メンテナンス
●各種イベント・展示会での映像・音響機材のレンタル
青森営業所:青森市問屋町2丁目20番5号 TEL:(017) 738-4506
<http://www.koseki.co.jp>

循環型社会を目指して……
製紙原料問屋・段ボール・古新聞・古雑誌
・機密文書リサイクル
株式会社 伸和産業
<http://shinwa-sangyou.com>
青森中央営業所 青森市問屋町 2-12-14 TEL (017) 764-2755
青森西営業所 青森市油川字岡田 122 TEL (017) 787-3455
本社 弘前市壺田 1丁目 4-2 TEL (0172) 35-5255

問屋町たんしん

▼第46回問屋町ボウリング大会
日時 11月25日(金)
12月2日(金)
各日午後7時~

会場 アオモリボウル
参加料 1人 1200円
※2ゲーム
定員 120名
▼フワワーアレンジメント教室
日時 11月22日(火)
※男性限定
12月8日(木)
※男女不問

各日午後6時30分
~7時30分

会場 問屋町会館
2階大会議室

参加料 無料
定員 各日先着30名



昨年の参加者の作品

業務報告

…主要事項…

- 9月
- 6日▽公共施設等視察会
- ▽知財活用講座 (著作権編)
- 7日▽第10回問屋町防災訓練
- 8日▽第6回問屋町合同清掃
- 11日▽第3回問屋町緑のボランティア隊
- 12日▽第3回問屋町地区健康診断
- 14日▽問屋町経営同友会視察研修会(16日)
- 15日▽金融審査会
- 20日▽第2回事業委員会
- 22日▽第2回労務対策委員会
- 26日▽第5回理事会
- 27日▽安協問屋町支部第3回街頭指導
- 30日▽県流通団地連絡協議会合同企業セミナー
- 10月
- 11日▽問屋町ボウリング大会
- 12日▽ボウリング大会
- 13日▽ボウリング大会
- 14日▽ボウリング大会
- 15日▽ボウリング大会
- 16日▽ボウリング大会
- 17日▽ボウリング大会
- 18日▽ボウリング大会
- 19日▽ボウリング大会
- 20日▽ボウリング大会
- 21日▽ボウリング大会
- 22日▽ボウリング大会
- 23日▽ボウリング大会
- 24日▽ボウリング大会
- 25日▽ボウリング大会
- 26日▽ボウリング大会
- 27日▽ボウリング大会
- 28日▽ボウリング大会
- 29日▽ボウリング大会
- 30日▽ボウリング大会

経済雑感 第二回

青森県知的財産支援センター センター長 名久井 紀世子

前号に引き続き、青森県知的財産支援センターの名久井センター長による経済雑感をお送りする。

今回は「特許」について取り上げます。

【県のアンケート結果から】

県では、2018年度に県内企業の皆さまを対象として、知的財産に関するアンケート調査(回答数573社)を実施しました。この調査で193社が「知的財産権を取得できる技術・製品がない」と回答しましたが、このうち53社(27・



青森県知的財産支援センター センター長 名久井 紀世子 氏

5%)が「自社の強みは、独自の技術やノウハウである」と回答していました。

矛盾するような結果ですが、独自の技術やノウハウに自信を持っている一方、その技術などに、知的財産としての価値があることは認識していない、ということなのかと思いま

【特許を目指す? 企業秘密を守る?】

知的財産の登録は「早い者勝ち」が原則です。たとえ自社が先に開発した技術でも、他社が先に特許出願すれば特許権は他社のものになり、最悪の場合は、その技術が使え

なくなってしまう。ただし、特許を申請すると、その技術等は一般公開されるため、企業秘密として秘匿した方がよい場合があることに注意が必要です。自社の持つ技術等の性質を見極め、特許を目指すのか企業秘密として守るのか、最適な戦略を選択する必要があります。

【その技術、漏洩の恐れはありませんか?】

技術やアイデアを企業秘密として守るためには、自社の技術等を棚卸して秘密にするべき情報を決め、秘密を洩らさない社内ルールを作る必要があります。その際には、W

EBやSNSでの情報発信の内容、企業見学を受け入れる際の視察範囲、展示会での説明内容などについての検討が必要です。また、他社と共同開発や共同研究を行う際には、秘密保持契約や、自社が不利な条件にならない内容での共同研究契約を結ぶ必要があります。

青森総合卸センター組合員の皆さまを対象として、問屋町会館で開設されている「専門家による無料相談コーナー」では、当センターが運営する「INPIIT 青森県知財総合支援窓口」の担当者が弁理士や支援機関と連携して、知的財産に関するご相談にワンストップで対応しています。ぜひご利用ください。

県火災あおもり | SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

県火災あおもりは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

ドライバーに  もしもの時の安心を

自動車総合共済

納得の掛金 | 各種割引 | 安心の特約

当組合は「事故有等級制度」を導入しておりませんので自動車事故にあわれた翌年の掛金上昇が緩やかです

取扱 青森卸センター代理所
TEL 017-738-4711

—建設から暮らしまで—

カクヒロ 灯油・LPGのご用命は当社へ

(株)角弘 青森燃料センター

青森市第二問屋町3-10-10
TEL017-762-3866

ENEOS EneJet DOUTOR

青森市第二問屋町4-10-26

EneJet問屋町SS

TEL 017-762-1676

ドールコーヒーショップ EneJet問屋町店
TEL 017-729-1470

今年度の景観美化活動終了

10月13日(木)に第7回問屋町合同清掃が実施された。今年度最後となった同活動には206名が参加し、問屋町及び第二問屋町のごみ拾いや歩道等の草刈り作業を実施。また近年、問屋町エリアで一部のイチヨウの樹が雌雄変更により銀杏が着果し、この時期になると大量に地面に落ちて景観を損ね強烈な匂いに苦慮していたが、今回の活動で一部回収された。

今年度の合同清掃は4月から10月まで月1回行われ、全7回で延べ1483名(1回あたり212名)が参加。昨

団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、今年6月に社長に就任された青森総合警備保障(株)の柿崎社長にお話を伺った。

同社は、昭和45年2月に青森県初の本格的な警備会社として設立し、機械警備、常駐警備、警備輸送などの各種警備事業を展開し、令和2年に創立50周年を迎えた。高品質な警備サービスの提供により地域社会の発展に貢献するという設立当初からの思いは変わらず、地域の安全安心を支える百年企業を目指している。

「当社は、地域の安全と安心を守る仕事をさせていたただいております。創立からこれ



合同清掃で草刈り



落ちた銀杏を拾い集める



緑のボランティア隊

年度に比べて70名ほど増加し、参加企業も11社増えた。合同清掃に年5回以上参加した事業所には功労賞が贈られ、今年度は102社が受賞。20年連続功労賞受賞の20年賞の対象となったのが7社、10年連続功労賞の10年賞が2社。

受賞者は、年明け開催予定の組合員新年会で表彰される。また、10月2日(日)には問屋町緑のボランティア隊による団地内の美化活動が行われた。今年度最後となった同活動には、同隊隊員及びその家族28名が参加。今回は、第

二問屋町幹線道路及び枝線道路、八ツ役交差点付近の街路樹の下枝刈りや街路樹樹幹等の除草作業を実施した。今年度、同隊による活動は全4回行われ、延べ110名が参加。団地内の景観美化向上が図られた。

までの50年間は、オフィスビルや公共施設の出入管理や巡回、空港保安検査などの「常駐警備」、企業やご家庭にセンサーを設置していただき、侵入や火災等の異常信号が発生した時に駆けつけ対応する「機械警備」、主に金融機関からの委託で現金・貴重品の輸送や資金管理を行う「警備輸送」の3本柱で事業を行ってまいりました。これから先の50年は、災害時の緊急対応支援をはじめ、新型コロナウイルス感染症の抗原検査キットや関連商品の販売、防犯カメラの普及啓発など、警備にプラスして生活の安全安心に関わる仕事に取り組んでいき



青森総合警備保障(株) 代表取締役社長 柿崎 忠俊 氏

「人手不足が大きな問題になっています。今後はいかにAI等を活用して人を省力化し、サービスを提供できるかが課題です。また職場環境の改善にも力を入れ、社員のモチベーションが上がるよう働きやすい環境を作り、少しずつでも人手不足解消ができればと考えています」と力強い。

問屋町の印象について聞くと「近くに高速道路のインターチェンジができたことにより、移動がとても便利になりました。また、卸業だけではなく様々な業種の企業が参入されたこと

で、さらに活気のある団地に変わった印象です」と話す。

プライベートについては「昨年まではウォーキングで体調管理に励んでいましたが、今年は忙しさにかまけて歩く頻度が減って体重が増えてしまったので、頃合いを見てウォーキングを再開したいと思っています。趣味はゴルフで、この数年のコロナ禍で会う機会が減ってしまっていた方々とゴルフで久々に顔を合わせられるのが嬉しいですね」と笑う。

座右の銘は「初心忘れるべからずです。やるが増えなければいくほど進むべき道を迷ったりもしますが、初心に帰ることを忘れないよう心がけ仕事に取り組んでいまして」と締めくくった。(53歳)

編集後記

問屋町が取り組む3つの価値創出事業。経済的・社会的な取り組みと違い、文化的価値を育むのはなかなか大変です。今回、当組合では青森県立美術館が主催した「5台ピアノコンサート」に協賛することで文化事業の支援を行いました▼コンサートが行われたアレコホールは、縦21m・横21m・高さ19mの大空間。そこに20世紀を代表する画家であるマルク・シャガールの「アレコ」の舞台背景画全4幕が四方に展示されているという何とも豪華な空間です▼ここに5台のピアノを配置し、プロのピアニスト5人が同時に演奏するという全国でも類を見ない形式の演奏会。個人的にピアノコンサートは今回初めて鑑賞するので、どんな演奏会になるのかワクワクしながら参加しました▼参加しての感想はまさに圧巻の一言。5台のピアノが奏でる大迫力のパフォーマンスに本当に感動しました。様々なアンサンブルに加え、1台のピアノを5人で弾いたり、選抜された県内中高生5名も加わって5台のピアノを10人20手で弾いたり、音楽の奥深さを体験できた貴重な経験になりました。プロのピアニストの技術は、本当に素晴らしいです。そして一緒に演奏した中高生5名にとっても素晴らしい経験になったと思います▼文化的な活動の大切さを再認識した一日になりました。音楽的なことは全くなさくないのですが石原裕次郎のようにドラムは叩いてみたいなと思っています。(小田切)

プロクレアホールディングス



住宅設備機器・冷暖房機器
住宅関連商品総合卸商社

株式会社 金辰商事

本社 青森市第二問屋町3-3-13 TEL 729-3111
営業所 仙台・弘前・盛岡・八戸